参　考　資　料

大学等における学生支援の取組状況に関する調査（平成 27 年度）

調査票

【回答上の留意点】

- 回答は、回答用ファイル（Excel）に入力し、提出してください。
- 設問に年度の記載がない場合は、平成27年度中に実施、あるいは実施予定のものについて回答してください。
- 各設問における取組や実施状況に関し、一部の学部・学科に限って実施している場合についても、実施しているものとして回答してください。
- 対象となる学生は、学部生（学科生）、大学院生、専攻科生、別科生となります。
- 短期大学（部）を併設されている場合は、それぞれに回答してください。

独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

【Ⅰ　学長等の認識】

貴学（校）を俯瞰して判断いただける方（学長・副学長等）にその御認識についてお答えくださいますようお願いいたします。

1　学生支援全般に関する貴学（校）の方針（グランドデザイン）について、お答えください。

１－①　学生支援の取組全般について、該当する項目を１つ選んでください。

a　強化・充実させたい
b　現状を維持していきたい
c　現在よりも縮小したい

１－②　学生支援の成果として、何を期待していますか。該当する数字を１つ選んでください。

a　学生生活における困難の除去
　強く期待している　５－４－３－２－１　殆ど期待していない
b　正課における学修成果への好影響
　強く期待している　５－４－３－２－１　殆ど期待していない
c　学生の人間力の向上
　強く期待している　５－４－３－２－１　殆ど期待していない
d　就職率の向上
　強く期待している　５－４－３－２－１　殆ど期待していない
e　入学志願者数への好影響
　強く期待している　５－４－３－２－１　殆ど期待していない

１－③　学生支援を進めるための方策や課題について、該当する数字を１つ選んでください。

a　自学にとって重要な学生支援領域の体制・スタッフを充実・強化したい
　強くそう思う　５－４－３－２－１　そう思わない
b　学生支援を全学で取り組むための体制・スタッフを充実・強化したい
　強くそう思う　５－４－３－２－１　そう思わない
c　学外のアクターとの連携によって、学生支援を充実・強化したい
　強くそう思う　５－４－３－２－１　そう思わない
d　学生支援のための学生スタッフを充実・強化したい
　強くそう思う　５－４－３－２－１　そう思わない
e　学生支援のための施設・設備を充実・強化したい
　強くそう思う　５－４－３－２－１　そう思わない
f　学生支援に係る教員の能力・スキル向上が必要である
　強くそう思う　５－４－３－２－１　そう思わない
g　学生支援に係る職員の能力・スキル向上が必要である
　強くそう思う　５－４－３－２－１　そう思わない
h　ヒト、カネ等のリソースをこれ以上投入するのは難しい
　強くそう思う　５－４－３－２－１　そう思わない

（次頁に設問が続きます）

ｉ　学生支援の効果が明らかでない

強くそう思う　５－４－３－２－１　そう思わない

ｊ　学生募集の観点からも、よりインパクトのある取組が必要だ

強くそう思う　５－４－３－２－１　そう思わない

ｋ　ｊに関連してどのような取組を構想（想定）しておられますか。

構想（想定）がございましたら、ご記入ください。

（　　）

ｌ　入学から卒業まで、学生を一貫してサポートする体制が必要だ

強くそう思う　５－４－３－２－１　そう思わない

ｍ　自学の学生支援の取組について、もっと広報することが必要だ

強くそう思う　５－４－３－２－１　そう思わない

ｎ　その他

上記以外の課題で、貴学（校）において克服すべきであると考えている課題がありましたら、ご記入ください。　（　　）

１－④　貴学（校）にとって、特に重視すべき領域を３つ、順序をつけて選択してください。

領　域	特に重視すべき領域３つを１から順に順序をつけて選択
ａ　学生相談	
ｂ　キャリア教育	
ｃ　インターンシップ	
ｄ　就職支援	
ｅ　生活支援	
ｆ　修学・学習支援	
ｇ　課外活動支援	
ｈ　ピア・サポート	
ｉ　ボランティア	
ｊ　友達づくり	
ｋ　学生の居場所作り	
ｌ　学生のモチベーションを高める取組	

１－⑤　学生支援のための全学的な方針等について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。
また、ｃを選んだ場合には、必要な事項を記入してください。

a　学生支援のための全学的な方針を作成した
b　全学的な方針の策定のため、特別のチームを編成した
c　具体的な行動計画（アクション・プラン）を策定した

→ｃを選んだ場合にご記入ください。

作成年度（記入）	プラン名（記入）
平成　　年度	

１－⑥　学生支援の成果と評価の方法についてお答えください。

（１）これまでの貴学（校）の学生支援の取組は効果を上げていると思いますか。該当する数字を１つ選んでください。

強くそう思う　５－４－３－２－１　そう思わない

（２）学生支援の効果を測定するための評価を行っていますか。該当する項目を１つ選んでください。

a　はい
b　いいえ

（３）（２）で「はい」と答えられた大学等にお尋ねします。そのための指標として何を使っていますか。該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

a　成績
b　授業の出席率
c　中途退学率
d　学生アンケート
e　学生相談の件数
f　就職率
g　その他（具体的にご記入下さい　　）

１－⑦　貴学（校）の学生支援の課題と展望について、ご意見等がありましたらお書きください。

（　　）

【Ⅱ　学生支援に関する組織等】

2　学生支援に関する組織等について、お答えください。

２－①　下記の例にならって、組織名称、支援内容、担当人数を記入してください。

（１）組織名称

貴学（校）における学生支援に関する組織の名称を記入してください。

※委員会組織は対象外とします。

※組織を全学的に記入する場合には、「キャンパスの別」欄に「全」と記入し、組織をキャンパス毎に記入する場合には、同欄に「A、B、C・・・」とアルファベット記号を付してください。

（２）支援内容

（１）で記入した組織が所掌する支援内容について、<u>該当する項目をすべて選んで</u>〇をつけてください。

1　修学支援に関するもの[教務・学習関係]
2　キャリア教育に関するもの
3　就職支援に関するもの
4　対人関係，心理・性格の相談に関するもの
5　メンタルヘルスの支援に関するもの
6　障害学生への支援に関するもの
7　生活支援に関するもの[事件事故防止に関する指導、施設等への支援など]
8　経済的支援に関するもの
9　留学生への支援に関するもの[外国人留学生への支援、日本人学生の海外留学への支援]
10　課外活動支援に関するもの[部・サークル活動等]
11　その他（　　）

（３）担当人数

（１）で記入した組織の担当人数を、次の区分毎に記入してください。

職員：常勤
　　非常勤
教員：常勤本務（当該組織に主として所属している者）
　　常勤兼務（別の学内組織に主として所属している者）
　　非常勤

（記入例）

	キャンパスの別	（１）組織名称（記入してください）	（２）支援内容											（３）担当人数				
			1 修学支援	2 キャリア教育	3 就職支援	4 対人関係，心理・性格の相談	5 メンタルヘルスの支援	6 障害学生支援	7 生活支援	8 経済的支援	9 留学生への支援	10 課外活動支援	11 その他（　）	職員		教員		
														常勤	非常勤	常勤本務	常勤兼務	非常勤
全学的に記載する場合	全	学生課		○	○	○		○	○	○	○	○		16	6			
	全	学生相談室	○			○		○	○					2	2	2		6
キャンパス毎に記載する場合	A	○○キャンパス　学生課			○	○		○	○	○	○	○		10	3			
	A	学生相談室	○			○		○	○					1	1	1		3
	B	××キャンパス　学生課		○										6	3			
	B	学生相談室				○			○					1	1	1		3

２－②　組織間での連携のための委員会組織等について、該当する項目を１つ選んでください。ａまたはｂを選んだ場合には、「委員会・組織等名称」と「委員会・組織等が所掌する支援内容」についても記入してください。

ａ　恒常的な委員会組織（学生委員会など）があり、そのなかで組織間の連携について協議が行われている

ｂ　恒常的な委員会組織はないが、連携のための組織等において協議が行われている

ｃ　担当者が定期的に集まって情報交換や協議をしている（恒常的な委員会組織や連携のための組織等はない）

ｄ　担当者が適宜連絡を取っている（恒常的な委員会組織や連携のための組織等はない）

ｅ　特に連携はしていない

ａまたはｂを選んだ場合に記入してください

委員会・組織等名称（記入）	委員会・組織等が所掌する支援内容 （複数選択可）
	下記から選択

支援内容：1　修学支援に関するもの
2　キャリア教育に関するもの
3　就職支援に関するもの
4　対人関係，心理・性格の相談に関するもの
5　メンタルヘルスの支援に関するもの
6　障害学生への支援に関するもの
7　生活支援に関するもの
8　経済的支援に関するもの
9　留学生への支援に関するもの
10　課外活動支援に関するもの
11　その他（　　）

２－③　学生の抱える課題に対して、包括的に対応することを目的とする領域横断的かつ恒常的な組織（学生支援センターなど）を設置していますか。該当する項目を１つ選んでください。また、ａを選んだ場合には、「組織の名称」、「組織が所掌する支援内容」、「組織の長」についても記入してください。

ａ　設置している

ｂ　設置していない

ａを選んだ場合に記入してください

組織名称（記入）	組織が所掌する支援内容 （複数選択可）	組織の長 （１つ選択）
	下記から選択	下記から選択

支援内容：1　修学支援に関するもの
2　キャリア教育に関するもの
3　就職支援に関するもの
4　対人関係，心理・性格の相談に関するもの
5　メンタルヘルスの支援に関するもの
6　障害学生への支援に関するもの
7　生活支援に関するもの
8　経済的支援に関するもの
9　留学生への支援に関するもの
10　課外活動支援に関するもの
11　その他（　　）

組織の長：ア　学長，学生担当副学長，学長補佐など
イ　学生支援担当の教員
ウ　学生支援担当の職員
エ　その他（　　）

２－④　学生の抱える多様で複合的な課題に対して、貴学（校）の組織は十分に対応できているとお考えですか。該当する項目を１つ選んでください。

a　十分に対応できている

b　ある程度対応できている

c　あまり対応できていない

d　全く対応できていない

２－⑤　履修指導または学習支援に従事することを主たる職務とする、学習アドバイザーやアカデミック・プランナー等の専門的知識・技能を有するスタッフを配置していますか。該当する項目を１つ選んでください。

a　配置している

b　配置していない

3　学生支援のための組織に関する課題について、お答えください。

３－①　学生支援のための組織の設計や運用等において、課題となっていることがありましたら、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

a　学生が抱える支援ニーズの組織的把握

b　学生への情報提供の不足

c　業務の量的増加や質的多様化による負担増

d　スタッフの量的な不足

e　適切な能力を持ったスタッフの配置

f　スタッフの能力開発（知識・スキルの向上）

g　異なる職種・雇用形態のスタッフ間の連携　［教員と職員／専任と嘱託・非常勤など］

h　組織間の連携／情報共有

i　効果的に支援を行うための組織再編

３－②　３－①との関連で、具体的なご意見等がありましたらお書きください。

（　　）

【Ⅲ　キャリア教育・就職支援】

4 貴学（校）が必修科目として設定したキャリア教育の科目について、お答えください。

４－①　開設状況について、該当する項目を１つ選んでください。また、開設している場合（ａ～ｂに該当する場合）には、必要な事項を記入してください。

ａ　大学全体で開設している

［ 対象学年：(　　）年生（複数学年の記入可)］

ｂ　学部あるいは学科単位で開設している

［ 対象学年：(　　）年生（複数学年の記入可)］

ｃ　開設していない

４－②　貴学（校）が必修科目としてキャリア教育の科目を開設している場合、授業担当者（成績評価に一定の責任を持つ者）について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

ａ　専任教員（大学院・学部等所属）

ｂ　専任教員（センター等、大学院・学部等以外の所属）

ｃ　特定有期雇用教員（特任教員等）

ｄ　(学内非常勤講師としての発令を受けている）職員

ｅ　(大学教員を本業とする)非常勤講師

ｆ　(キャリア教育関係の民間企業に在職している)非常勤講師

ｇ　その他（　　）

４－③　上記のキャリア教育の科目について、授業担当者（成績評価に一定の責任を持つ者）の指導の下、授業の一部を担当するものがいれば、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

ａ　職員

ｂ　キャリア教育、能力開発関係の民間企業社員

ｃ　一般の民間企業社員

ｄ　地域の経済団体等の構成員

ｅ　地方公共団体職員

ｆ　公益法人、ＮＰＯ等の職員

ｇ　その他（　　）

5 就職支援に関する担当者について、お答えください。

５－①　担当者はどなたですか。該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

ａ　教員（常勤本務）

ｂ　教員（常勤兼務）

ｃ　教員（非常勤）

ｄ　職員（常勤）

ｅ　職員（非常勤）

ｆ　その他（　　）

ｇ　いない

５－②　担当者の中に、専門的な訓練を受けた方はいますか。該当する項目をすべて選んで○をつけてください。また、ａを選んだ場合には、必要な事項を記入してください。

ａ　キャリアコンサルタント等の資格を取得した者［資格名：(複数の記入可)］

ｂ　ＪＡＳＳＯ等のキャリア・就職関係の研修会、ワークショップを受講した者

ｃ　その他（　　）

ｄ　いない

５－③　担当者として、学外からの人材の採用・配置をしていますか。該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

ａ　企業等の人事担当経験者

ｂ　就職支援関連企業等の経験者

ｃ　卒業生

ｄ　その他（　　）

ｅ　いない

6　就職ガイダンス・セミナー等の実施状況について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。
また、実施している場合（ａ～ｂに該当する場合）には、必要な事項を記入してください。

ａ　全学で実施している
［対象学年：(　) 年生（複数学年の記入可)］

ｂ　学部あるいは学科単位で実施している
［対象学年：(　) 年生（複数学年の記入可)］

ｃ　実施していない

7　進路状況を把握するための調査について、平成２６年度の実施状況をお答えください。

７－①　卒業年次の学生全員に対する調査を実施していますか。該当する項目を１つ選んでください。また、実施している場合には、必要な事項を記入してください。

ａ　実施している［回数：年（　）回］

ｂ　実施していない

７－②　卒業生の現況調査を実施していますか。該当する項目を１つ選んでください。また、実施している場合には、必要な事項を記入してください。

ａ　実施している
［全学で実施、学部あるいは学科単位で実施、全学で対象を抽出して実施、学部あるいは学科単位で対象を抽出して実施、から選択］,［卒業後（　）年目に実施］

ｂ　実施していない

8 卒業生に対する支援の状況について、該当する項目をすべて選んで〇をつけてください。

a　未就職者からの就職相談を受け付けている
b　離職者からの就職相談を受け付けている
c　未就職者に能力開発や資格取得等のための講座を開放している
d　離職者に能力開発や資格取得等のための講座を開放している
e　未就職者に求人情報を提供している
f　離職者に求人情報を提供している
g　その他（　　）

9 就職支援に関し、連携している学外の就職支援組織・団体について、該当する項目をすべて選んで〇をつけてください。

a　国や地方公共団体の就職支援組織・団体（ハローワーク、ジョブパーク、ジョブカフェなど）
b　就職支援関連企業（就職支援情報企業、人材派遣企業など）
c　地元の経営組織・団体・企業（商工会議所、経営者協会など）
d　大学や学部等の同窓会組織
e　資格取得のための専門学校・スクール
f　その他（　　）
g　実施していない

１０ 学生の就職・採用活動について

１０－① 就職・採用活動時期の変更に際し、貴学（校）ではどのような対応を実施していますか。該当する項目をすべて選んで〇をつけてください。

a　学内合同企業説明会の実施時期の見直し
b　学内合同企業説明会の内容の見直し
c　就職ガイダンス・セミナーの実施時期の見直し
d　就職ガイダンス・セミナーの内容の見直し
e　学内合同説明会参加企業への周知
f　実績企業（求人実績・採用実績など）との関連強化
g　新規企業の求人開拓の強化
h　求人情報の活用の推進
i　進路状況調査の実施時期の見直し
j　就職相談体制の強化
k　インターンシップの推進充実
l　初年次からのキャリア教育の充実
m　その他（　　）
n　実施していない

１０－②　企業の採用選考活動時期について、該当する項目を１つ選んでください。

a　８０％以上の企業が遵守していた

b　５０％以上８０％未満の企業が遵守していた

c　２５％以上５０％未満の企業が遵守していた

d　２５％未満の企業が遵守していた

e　わからない

１１　キャリア教育・就職支援に関する課題について、お答えください。

１１－①　キャリア教育・就職支援に関して、課題となっていることがありましたら、該当する項目をすべて選んで〇をつけてください。

a　学生の基礎学力

b　学生の人間関係形成・社会形成能力

c　学生の自己理解・自己管理能力

d　学生の課題対応能力

e　学生のキャリアプランニング能力

f　低学年次からの指導の拡大

g　インターンシップへの対応

h　学生の就職・就職活動に対する意欲・意識

i　複数の内定を獲得する学生と、内定の決まらない学生の二極化

j　就職支援行事（ガイダンスやセミナー等）の企画・実施

k　卒業生に対する支援

l　障害のある学生に対する支援

m　就職・採用活動時期の変更

n　組織・人員体制

o　キャリアセンターと学部教員の協力関係

p　キャリア教育に対する教員の理解

q　就職支援に対する教員の理解

r　キャリアセンター教職員の専門能力

s　キャリア教育と就職支援の一体的な企画・運用

t　民間事業者との連携

u　キャリア教育と教育課程の関係性

v　キャリア教育の体系性

w　キャリア教育に対する職員の理解

１１－②　１１－①との関連で、具体的なご意見等がありましたらお書きください。

（　　）

【Ⅳ　生活支援】

１２ 学生に対する事件・事故の防止等に関する指導・啓発について、どのような取組を実施しているかお答えください。

１２－①　下表の事項１～15 について、実施している取組項目（ａ～ｈ）をすべて選んで○をつけてください。また、現在、特に対応が困難な事項について、上位３つを困難な順に１から数字を記入してください。

取組項目 ＼ 事項	ａ ガイダンス	ｂ 授業（初年次）	ｃ 授業（初年次を除く）	ｄ 学内広報物による周知	ｅ ホームページに掲載	ｆ 啓発的な講演会等の開催	ｇ 教職員に対する研修	ｈ その他の取組	現在、特に対応が困難なもの（上位3つに数字を記入）
1　薬物乱用防止に関すること(※)									
2　飲酒問題に関すること									
3　喫煙問題に関すること									
4　メンタルヘルスに関すること									
5　健康管理に関すること									
6　通学上の安全に関すること									
7　海外渡航の際の安全確認に関すること									
8　マナー・モラルに関すること									
9　ＳＮＳ等の利用に関すること									
10　消費者問題に関すること									
11　ハラスメント防止に関すること									
12　カルトに関すること									
13　配偶者・恋人からの暴力防止に関すること									
14　年金問題に関すること									
15　その他（　　）									

※ 薬物乱用とは、医療品を医療目的からはずれて使用すること、医療目的に使われない薬物を不正に使用することを意味します。

１２－②　１２－①で「ｈ　その他の取組」に○をつけた場合にお答えください。対象としている事項を上表１～15 から選んで数字を記入し、貴学（校）の取組のうち特色があると思われる取組を、具体的に記入してください。

事項（1～15 を記入）	上表ａ～ｇ以外の特色ある取組を具体的に記入してください

１３ 学生生活に関する施設の設置状況について、お答えください。

１３－① 下表のａ～ｉの施設について、設置しているものをすべて選んで○をつけてください。
また、平成 25 年度以降、平成 27 年度末までに新たに設置・増設した（する）ものについては◎をつけ、その理由を記入してください。

施　設　名	設置している（○を記入）	平成 25 年度～27 年度末までに新設置・増設（◎を記入）	新たに設置・増設した（する）理由
a　保健管理施設			
b　課外活動施設（サークル施設など）			
c　食堂・喫茶			
d　学生プラザ・フリースペース			
e　託児所（学生の子どもを受入れ対象とする）			
f　学生団体のための部屋			
g　学生寮（寄宿舎）			→１３－③へ
h　障害のある学生の休息室等			
i　その他（　　）			

１３－② １３－①のａ～ｉの施設の利用に関して、特に工夫していることがあれば具体的に記入してください。

施設（ａ～ｉを記入）	工夫している内容を具体的に記入してください（例：○○のため１００円朝ごはんを提供、××のため喫茶をリニューアル等）

１３－③ １３－①で「ｇ 学生寮（寄宿舎）」を、新たに設置・増設した（する）場合のみお答えください。
新たに設置・増設した（する）理由について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

a　学生の経済的問題への配慮
b　快適な生活環境の提供
c　地方学生の確保
d　大学等への帰属意識の醸成
e　共同生活を通じた規律意識の醸成
f　コミュニケーション能力の向上
g　問題解決能力の修得
h　日本人学生と留学生との共同生活による異文化理解・外国語能力の向上
i　その他（　　）

１３－④　学生寮（寄宿舎）について、お答えください。学生寮を設置していない学校は（１）のみ、既に設置している学校はすべての設問にお答えください。また、複数選択できる設問については、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

（１）　今後（平成２８年度以降）、学生寮を設置ないし増設する予定はありますか。

a　ある

b　ない

（２）　学生寮の保有形態についてお尋ねします。該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

a　自己所有

b　借り上げ

c　その他

（３）　学生寮の運営形態（※）についてお尋ねします。該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

a　学校による直接運営

b　運営を外部に委託

c　学生による自治

d　その他

※学生寮の運営形態：
学校による直接運営とは、大学が学生寮の運営を全面的に管理する形態です。運営を外部に委託とは、学生寮の管理・運営業務を民間業者等に委託する形態です。
学生による自治とは、学生自治組織等により寮生が自ら学生寮の管理・運営をしている形態です。

（４）　（３）において、「ｃ　学生による自治」を選択した学校にお尋ねします。学生による自治について、大学等の関与の仕方やその深度･頻度の観点から詳細をお書きください。また、その他に問題点もしくは、今後の計画等がありましたら具体的にお書きください。

（　　）

（５）　定員についてお尋ねします。寮が複数ある場合は寮全体の総定員をご記入ください。

定員［（　　）名］、うち留学生［（　　）名］

（６）　学生寮の入居学生についてお尋ねします。 寮が複数ある場合で寮によって形態が異なる場合は、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

a　日本人学生のみ

b　留学生のみ

c　日本人学生と留学生（混住型）

（７）　平成２７年８月１日現在の入居者数についてお尋ねします。寮が複数ある場合は寮全体の入居者数で回答してください。

入居者数［（　　）名］、うち留学生［（　　）名］

（８）　寮費について、次の選択肢から該当する金額を選んでください。寮費が複数設定されている場合は複数選択してください。

ａ　０～５，０００円
ｂ　５，００１～１０，０００円
ｃ　１０，００１～２０，０００円
ｄ　２０，００１～３０，０００円
ｅ　３０，００１～４０，０００円
ｆ　４０，００１～５０，０００円
ｇ　５０，００１～６０，０００円
ｈ　６０，００１～７０，０００円
ｉ　７０，００１～８０，０００円
ｊ　８０，００１円～

（９）　学生寮の付帯施設（※）についてお尋ねします。設置しているものにすべて〇を記入してください。

ａ　独立した談話室（スペース）
ｂ　図書室
ｃ　学習室
ｄ　フィットネスルーム
ｅ　コート・運動場等
ｆ　音楽室等
ｇ　カウンセリングルーム
ｈ　保健室・医務室
ｉ　育児室
ｊ　バリアフリーの居室、トイレ、洗面所等
ｋ　食堂・喫茶室
ｌ　共用キッチン
ｍ　共同浴場（シャワールーム）
ｎ　洗濯室
ｏ　その他（　　）

※学生寮の付帯施設：
学生寮に付属する設備・施設であって、寮生が使用することのできるものを指します。寮生が共同生活において使用する設備・施設、学習活動等で利用する設備･施設、バリアフリーの設備･施設等、寮生の寮生活に関わる設備・施設を意味しています。

（１０）　過去３年の入居希望者数についてお尋ねします。

ａ　増加傾向
ｂ　横ばい
ｃ　減少傾向
ｄ　把握していない

（１１）　今後（平成２８年度以降）、学生寮をどうするかについてお尋ねします。

ａ　増設する予定
ｂ　縮小する予定
ｃ　廃止する予定
ｄ　改廃の予定なし

（１２）　学生寮に関して、課題となっていることがありましたらお書きください。

（　　）

１４　学生生活支援に関する課題について、お答えください。

１４－①　生活支援（学生に対する事件・事故の防止等に関する指導・啓発、学生生活に関する施設の設置等）に関して、課題となっていることがありましたら、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

a　施設の管理運営
b　施設の不足
c　学生への情報伝達・啓発
d　防犯に関すること
e　留学生・外国人学生に関すること
f　障害学生に関すること
g　学生の防犯意識の低下
h　学生支援のための組織・人員体制に関すること
i　経済的問題に関すること
j　地域・周辺住民に関すること

１４－②　１４－①との関連で、具体的なご意見等がありましたらお書きください。

（　　）

【Ⅴ　課外活動支援／ピア・サポート／ボランティア】

１５　貴学（校）として公認している課外活動団体（クラブ、サークル、同好会等。以下「公認サークル」という。）の、団体数と加入人数を記入してください。把握していない場合には、「把握していない」と記入してください。同一法人内の大学・短大につきましては、可能であれば、それぞれの団体数･加入人数をそれぞれの回答用ファイルに記入してください。

文化系　［団体数：（　）団体］，［加入人数：（　）人］
体育系　［団体数：（　）団体］，［加入人数：（　）人］

１６　公認サークルに対する支援の状況について、お答えください。

１６－①　公認サークルに対する貴学(校)としての支援について、<u>該当する項目を１つ選んで</u>ください。支援している場合には、１６－②についてもお答えください。

a　支援している
b　支援していない

１６－②　１６－①で「ａ　支援している」を選んだ場合にお答えください。支援している内容について、<u>該当する項目をすべて選んで</u>〇をつけてください。

a　施設・物品の供与及び貸与
b　施設・設備の整備
c　経費の補助（後援会からの経費の支援は含まない）
d　リーダー養成セミナーの実施
e　専属指導者（コーチ等）の招聘・費用負担
f　オリエンテーション等で公認サークル活動への参加を推奨
g　公認サークル活動を通じて地域に貢献
h　事故防止のためのガイダンス、説明会、研修会の実施
i　事故に対応する保険の加入指導
j　危機管理ガイドラインの制定
k　体育系サークルの試合結果などを学内広報、応援参加を推奨
l　文化系サークルの発表活動などを支援
m　その他（　　）

１７　学生表彰について、お答えください。

１７－①　学生表彰の実施状況について、<u>該当する項目を１つ選んで</u>ください。実施している場合には、１７－②についてもお答えください。

a　実施している
b　実施していない

１７－②　１７－①で「ａ　実施している」を選んだ場合にお答えください。対象となっている活動について、<u>該当する項目をすべて選んで</u>〇をつけてください。

a　課外活動（サークル活動、スポーツ、文化芸術、学術等）
b　社会活動（ボランティア活動、人命救助等）
c　国際交流活動
d　成績優秀者に対する表彰（学長賞など）
e　成績優秀者に対する奨学金の授与・授業料免除
f　その他（　　）

１８ ピア・サポート（※）等、学生同士で支援する制度の実施状況について、お答えください。

※ピア・サポート：学生生活上で支援（援助）を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で気軽に相談に応じ、手助けを行う制度。

１８－① ピア・サポート等、学生同士で支援する制度の実施状況について、該当する項目を１つ選んでください。実施している場合には、１８－②および１８－③についてもお答えください。実施していない場合には必要な事項を記入してください。

a　実施している

b　実施していない

貴学（校）として今後実施したいと思っていますか。該当する項目を１つ選んでください。

ア　実施したい

イ　考えていない

１８－② １８－①で「ａ　実施している」を選んだ場合にお答えください。貴学（校）として、今後ピア・サポートの取組をどのようにしていきたいですか。該当する項目を１つ選んでください。また、ｃ～ｄに該当した場合には、必要な事項を記入してください。

a　拡充したい

b　現状維持

c　縮小したい［理由：(　　)］

d　やめたい　［理由：(　　)］

１８－③ １８－①で「ａ　実施している」を選んだ場合にお答えください。ピア・サポートとしての具体的な活動を、下記の例にならって記入してください。

（記入例）

名称（あれば記入してください）	報酬（1 時間）	支援領域（該当する項目にすべて〇）								
		a	b	c	d	e	f	g	h	i（記入）
学生メンター	無給	〇		〇				〇		
就活サポーター	無給			〇						
スチューデントアシスタント	９００円	〇								

支援領域：

a　学習サポート

b　修学相談（履修相談等）

c　就職アドバイス

d　学生寮（寄宿舎）内の生活支援（レジデント・アシスタント等）

e　障害学生支援

f　留学生支援

g　学生生活上の支援（障害学生支援・留学生支援を除く）

h　学生間の仲間づくり

i　その他（　　）

１９ 学生のボランティア活動に対する支援について、お答えください。

１９－① 学生のボランティア活動に対する支援について、該当する項目を１つ選んでください。実施している場合には、１９－②および１９－③についてもお答えください。

a　実施している

b　実施していない

１９－② １９－①で「ａ　実施している」を選んだ場合にお答えください。以下の具体的な支援の実施状況について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。また、ｊを選んだ場合には、必要な事項を記入してください。

a　ボランティア活動の「単位」認定

b　ボランティア活動に参加する学生への修学上の配慮

c　ボランティア活動に関する授業科目の設置

d　ボランティア募集に関する情報収集・提供

e　ボランティア活動を希望する学生と受入れ先との調整

f　ボランティア活動に参加する学生対象の事前研修会等

g　ボランティア活動における事故に対応する保険の加入指導

h　ボランティア活動に対する経済的な支援

i　大学等においてボランティア事業を企画・実施

j　ボランティア活動専門の部署を設置　［部署名：(　　)］

k　ボランティア活動専任スタッフを配置

l　その他（　　）

１９－③ １９－①で「ａ　実施している」を選んだ場合にお答えください。学生のボランティア活動支援において、実施している分野に該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

a　国内の災害地への援助活動（災害地への物資援助などの救助活動、募金活動他）

b　地域社会活動（自治体の手伝い、消防・防災・交通安全などの活動、村・町おこし）

c　国際交流・協力活動（留学生や外国人の相談相手、通訳、ホームステイなど）

d　自然・環境活動（生物・植物の保護、掃除などの環境整備、リサイクル活動など）

e　保健・医療活動（病気の人の手助け、健康を守る活動など）

f　福祉活動（お年寄りや障害のある人などを助ける活動など）

g　教育・文化・スポーツ活動（子どもの学習の面倒をみる、生涯学習活動、伝統文化の継承、博物館美術館などでの作品説明、史跡など観光施設の説明、スポーツ教室）

h　その他（　　）

２０ 課外活動支援等に関する課題について、お答えください。

２０－① 課外活動支援、ピア・サポート、ボランティアに関して、課題となっていることがありましたら、該当する項目を全て選んで〇をつけてください。

a　活動への経済的な支援に関すること
b　活動のための施設等に関すること
c　活動のための時間確保に関すること
d　学生への情報提供・啓発に関すること
e　支援を行う学生の資質・研修に関すること
f　活動中の事故防止に関すること
g　活動内容の把握に関すること
h　支援のための組織や制度・人員体制に関すること
i　活動に参画する学生の確保に関すること
j　活動における学生の自主性と管理・関与のバランスに関すること
k　その他活動活性化のための方策

２０－② ２０－①との関連で、具体的なご意見等がありましたらお書きください。

（　　）

【Ⅵ　学生相談】

本項目は、学生相談室・カウンセリングセンター・保健管理センター等で、学生の悩み等について相談・支援する活動を対象としています。

２１　学生相談の内容について、前回調査時（平成 25 年度）と比較して、件数が増えている項目はありますか。
下表の１～１２の項目について、該当する記号（ａ～ｃ）を１つ選んでください。

項　目	ａ～ｃから１つ選択
1　対人関係（家族、友人、知人、異性関係）	
2　精神障害（気分障害、不安障害、統合失調症等）	
3　ＬＧＢＴ（性的少数者）（※）	
4　心理・性格（アイデンティティ、セルフコントロール等）	
5　修学上の問題	
6　進路・就職	
7　発達障害（自閉症スペクトラム障害、ＡＤＨＤ（注意欠陥多動性障害）、ＬＤ（学習障害）等）	
8　経済的問題	
9　ハラスメント、人権侵害	
10　悪徳商法、法律相談	
11　身体障害	
12　その他（　　）	

ａ　増えている
ｂ　増えていない
ｃ　把握していない

※ＬＧＢＴ：Lesbian,Gay,Bisexual,Transgenderの頭文字をとったもの。「性的少数者」と訳されることが多い。

２２　学生相談に関する組織について、お答えください。

２２－①　学生相談に対応する組織・人について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。
また、ａ～ｂに該当した場合は、２２－②および２２－③についてもお答えください。

ａ　学生の相談に対応する独自の組織（学生相談室等）
ｂ　保健管理センターや保健室など
ｃ　学生部や学務課等の事務組織
ｄ　学生支援センター等の総合的な組織
ｅ　クラス担任、指導教員等の教員
ｆ　学生委員会等の委員会組織
ｇ　その他（　　）

２２－②　２２－①でａ～ｂに該当した場合にお答えください。学生相談に対応する組織（２２－①のａ，ｂ）の開室状況について、１週間当たりの開室時間を記入してください。

ａ［開室時間：１週間当たり（　　）時間］
ｂ［開室時間：１週間当たり（　　）時間］

２２－③　２２－①でａ～ｂに該当した場合にお答えください。過去２年の学生相談件数を記入してください。
（２２－①ａ，ｂにおける延件数）。可能であれば、相談者の内訳も記入してください。

平成２５年度［相談件数：（　）件］，［内訳：学生（　）件、教職員（　）件、保護者（　）件］
平成２６年度［相談件数：（　）件］，［内訳：学生（　）件、教職員（　）件、保護者（　）件］

２２－④　学生相談に対応する組織では，個別相談以外にどのような活動がなされていますか。該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

a　学生生活等に関する授業
b　心理教育的ワークショップ
c　各種グループ活動
d　居場所による援助活動（※）
e　スクリーニング調査
f　リーフレットの作成・配布
g　一般教職員を対象とした学生対応等に関する研修
h　その他（具体的に：　　）

※談話室や懇談室等の名称で学内適応や活動の拠点として学生に居場所と交流の機会を提供するもの。

２２－⑤　学生相談に対応する組織と学内の他組織との連携状況について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

a　全学的に定期的に連絡会議を行っている
b　担当組織間で定期的に会議を行っている
c　担当者間で連絡を取っている
d　学生支援関係の委員会に参加している
e　危機管理関係の委員会に参加している
f　特に連携していない

２２－⑥　カウンセラー（※）および医師の配置状況について、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。また、ａ～ｂに該当した場合には、必要な事項を記入してください。

※ここでの「カウンセラー」とは、「臨床心理士」ないしは「大学カウンセラー」（「日本学生相談学会」認定）の資格を持つものとします。

a　カウンセラーを配置している［人数：常勤（　）名、非常勤（　）名］
b　医師を配置している　　［人数：常勤（　）名、非常勤（　）名］
c　いずれも配置していない

２３　学生相談にかかわる教職員等の知識・技能の向上のため、どのような取組を実施していますか。該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

a　学内で学生相談に特化した研修を企画・実施している
b　担当者に学協会等の研修を受講させている
c　学生相談に特化していないが、学内のＦＤ・ＳＤ研修で取り扱っている
d　実施していない

２４　学生相談に関する学外機関との連携について、お答えください。

２４－①　学生相談に関する学外機関との連携状況について、該当する項目を１つ選んでください。連携している場合は、２４－②についてもお答えください。

a　連携している
b　連携していない

２４－②　２４－①で「ａ　連携している」を選んだ場合にお答えください。連携している学外機関について、該当する項目をすべて選んで〇をつけてください。

ａ　医療機関
ｂ　発達障害者支援センター
ｃ　国や自治体主体の就職支援組織・団体（ハローワークなど）
ｄ　消費者センター
ｅ　警察署
ｆ　弁護士
ｇ　その他（　　）

２５　学生相談に関する課題のうち、以下の問いにお答えください。

２５－①　学生相談に関する今後の課題として、特に必要性が高いと思われる事項はありますか。下表の１～２０の項目について、該当する項目をすべて選んで〇をつけてください。

２５－②　今後、学生相談に関する取組を充実させていくにあたり、貴学（校）単独では実施困難と思われる事項はありますか。下表の１～２０の項目について、該当する項目をすべて選んで〇をつけてください。

項　目	２５－① 必要性 が高い	２５－② 単独では 実施困難
1　悩みを抱えていながら相談に来ない学生への対応		
2　学生への予防教育的活動		
3　学生の保護者への対応		
4　複雑かつ多様な相談内容への対応		
5　精神的危機の状況にある学生への対応		
6　相談員の増員		
7　相談員の専任化		
8　相談員の専門性の向上		
9　相談員の待遇の改善		
10　相談員と教職員との連携・協働		
11　相談員や教職員に対する研修		
12　学生相談の体制・環境整備		
13　学生相談対応のためのマニュアル作成		
14　学内の他の学生支援部門との連携		
15　学外の専門機関（医療機関・学生相談機関等）との連携		
16　他大学等の先進的取組等の情報収集		
17　外国の大学等における取組の情報収集		
18　障害学生に関すること		
19　留学生向けの学生支援に関すること		
20　その他（　　）		

２６　学生相談に関して、ご意見等がありましたらお書きください。

（　　）

【Ⅶ　成績不振学生・不登校学生等】

２７　修学に関する相談について、下表１～１３の項目における最近３年程度の傾向として、該当する記号（ａ～ｄ）を１つ選んでください。

相談内容	ａ～ｄから１つ選択
1　授業の内容	
2　外国語の勉強法	
3　数学、物理など理系基礎に関すること	
4　ノートの取り方	
5　レポートや論文の書き方	
6　ＩＣＴの使い方	
7　図書館等の利用法	
8　履修登録・科目選択について	
9　プレゼンテーションの方法	
10　授業の進度やレベル	
11　教員との相性や人間関係	
12　授業における友人関係	
13　教員の授業法や授業管理	

ａ　増えている
ｂ　あまりかわらない
ｃ　減っている
ｄ　わからない

２８　成績不振学生、出席状況が悪い学生や不登校の学生について、お答えください。

２８－①　成績不振学生として対応している学生について、貴学（校）の判断の目安があれば記入してください。
（例：三期連続で GPA が 1.5 を下回るもの等　　）

２８－②　出席状況が悪い学生として対応している学生について、貴学（校）の判断の目安があれば記入してください。
（例：実習、就職活動以外の理由で、講義等を3回以上連続欠席等　　）

２８－③　不登校の学生として対応している学生について、貴学（校）の判断の目安があれば記入してください。
（例：進学・卒業に必要な単位取得に必要な出席数の半分以下の出席等　　）

２９ 成績不振学生、出席状況が悪い学生や不登校の学生に対する取組について、該当する項目をすべて選んで〇をつけてください。また、ｗに該当する場合には、必要な事項を記入してください。

項　　目	成績不振学生	出席状況が悪い学生・不登校学生
a　教務・学生部等／学部・学科が、早期発見のため出席確認を行なっている		
b　教務・学生部等／学部・学科が、科目担当者等に出席調査を依頼している		
c　科目担当者等と教務・学生部等／学部・学科との間で、連絡体制を構築している		
d　担任もしくはゼミ・研究室の教員と教務・学生部等／学部・学科との間で、連絡体制を構築している		
e　学生相談のカウンセラー等と教務・学生部等／学部・学科との間で、連絡体制を構築している		
f　担任もしくはゼミ・研究室の教員により面談している		
g　アカデミックアドバイザー等専門職員により面談している		
h　教務・学生部等の関連部署職員により面談している		
i　初年次演習科目等の担当教員により面談している		
j　スタディスキルに関する授業科目を開講している（正課内）		
k　スタディスキルに関するセミナー等を開講している（正課外）		
l　学習支援センター等により個別支援を提供している		
m　学習支援センター等により補習講座を提供している		
n　教職員向けの対応マニュアルを作成している		
o　教職員に対して研修を実施している		
p　学生向けの啓発のリーフレット等を作成している		
q　学生にガイダンス等で説明している		
r　保護者に連絡をとっている		
s　ピア・サポート（※）を活用している		
t　休学制度を柔軟に運用している		
u　進路変更の相談をしている		
v　ＩＲデータを活用した修学指導体制を構築している		
w　学外の機関等と連携、ネットワークを形成している［内容：（　　）］		
x　その他（　　）		

※ピア・サポート：学生生活上で支援（援助）を必要としている学生に対し、仲間である学生同士で気軽に相談に応じ、手助けを行う制度。

３０ 成績不振学生･不登校学生に対する支援に関する課題について、お答えください。

３０－① 成績不振学生･不登校学生に対する支援に関して、課題となっていることがありましたら、該当する項目をすべて選んで○をつけてください。

a 個々の学生へのサポート・ニーズの把握について
b 休学率を減少させる方策について
c 退学率を減少させる方策について
d 休学した学生の復学支援について
e 問題学生や要支援学生の把握について
f 障害学生に対する支援について
g 学生の基礎学力について
h 学生のモチベーション維持・向上について
i 学生への連絡について
j 学生への経済的な支援について
k 保護者との連携について
l 学外の機関等との連携について
m 学内における連携体制について
n 予算や人員等、支援のための資源について
o 提供している支援に関する、学内における周知、理解について

３０－② ３０－①に関連して、具体的なご意見等がありましたらお書きください。

（　　）

【Ⅷ　その他】

３１ 学生支援全般に関して、ご意見等がありましたらお書きください。

（　　）

御協力ありがとうございました。
今後の参考とさせていただくため、日本学生支援機構への要望等がありましたらお書きください。

学生支援の取組状況に関する調査協力者会議　委員一覧

	安部　有紀子	大阪大学　全学教育推進機構　准教授
	沖　　清豪	早稲田大学　文学学術院　教授
◎	川島　啓二	九州大学　基幹教育院　教授
	佐藤　純	茨城県立医療大学　保健医療学部　教授
	立石　慎治	国立教育政策研究所　高等教育研究部　研究員
	橋場　論	福岡大学　教育開発支援機構　　講師
	望月　由起	昭和女子大学　総合教育センター　准教授

（五十音順・敬称略）
（◎：主査）

学生支援の取組状況に関する調査協力者会議　設置要項

平成 25 年 4 月 26 日
理事決定
最近改正　平成 28 年 4 月 1 日

1．目的

独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）が実施する「大学等における学生支援の取組状況に関する調査」について，調査項目・実施方法の検討，分析等を行うことを目的として，学生支援の取組状況に関する調査協力者会議（以下「協力者会議」という。）を設置する。

2．役割

協力者会議は本調査の実施に係る次の各号に掲げる事項について検討する。

（1）　調査項目，実施方法，調査結果の分析等に関すること。

（2）　その他，協力者会議において必要と認める事項に関すること。

3．組織及び委員の委嘱

（1）協力者会議は，学識経験者等で構成し，６名程度とする。

（2）委員の任期は原則２年とし，再任を妨げない。

（3）委員に欠員が生じ，協力者会議で必要と認める場合は，補欠の委員を置くことができる。ただし，補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

4．運営

（1）協力者会議に主査を置き，委員の互選によりこれを定める。

（2）協力者会議は主査が招集し，主査がその議長となる。

（3）主査に事故があるときは，あらかじめその指定する委員が，その職務を代理する。

5．庶務

協力者会議の庶務は，学生生活部学生支援企画課において処理する。

6．その他

この要項に定めるもののほか，協力者会議の運営に関し必要な事項は，別に定める。

附　則

この要項は，平成 25 年 4 月 26 日から施行する。

附　則

この要項は，平成 26 年 7 月 30 日から施行する。

附　則

この要項は，平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

大学教育の継続的変動と学生支援

―大学等における学生支援の取組状況に関する調査（平成２７年度）より―

発行日　　平成 29 年 2 月

編集発行　独立行政法人日本学生支援機構
学生生活部 学生支援企画課 学生支援調査係
〒135-8503　東京都江東区青海 2-2-1
TEL 03-5520-6169　FAX 03-5520-6048
URL　http://www.jasso.go.jp/